

平成28年11月28日  
在宅医療・介護連携基礎研修会

## 「急性期病院における退院支援」

県立中央病院

地域医療福祉連携室

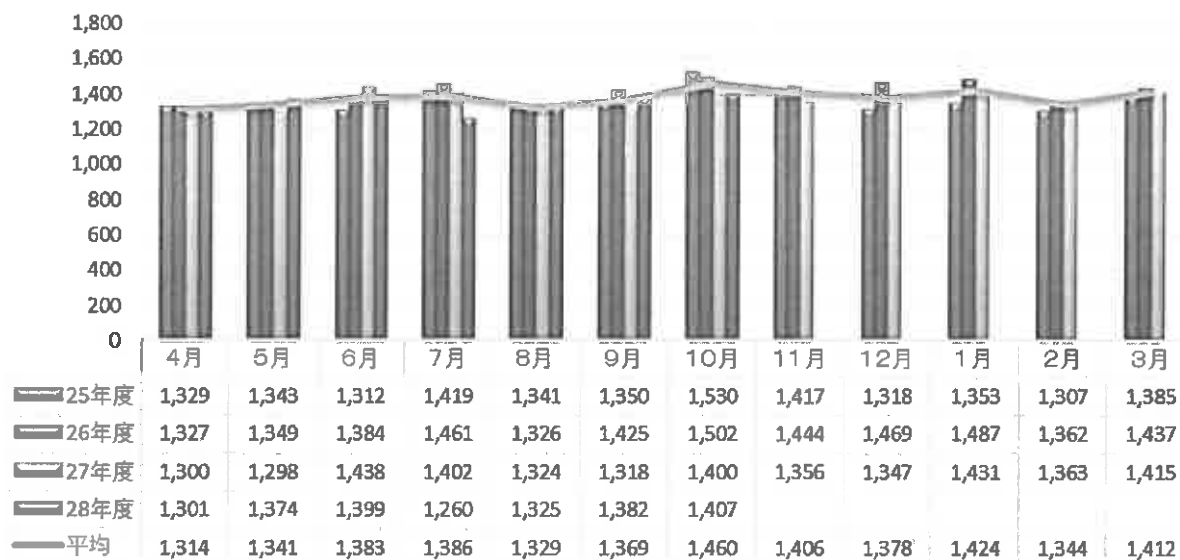
退院調整看護師 荻野 絢子

### 県立中央病院の概要

- 病院種別** : 地域医療支援病院、二次救急指定病院、  
地域災害拠点病院、地域がん診療拠点病院 等
- 施設基準等** : 入院基本料（7：1入院基本料）
- 許可病床数** : 一般 685床（ICU、HCU25床含む）
- 診療科** : 27診療科  
【チーム医療による6診療センター】  
消化器センター、循環器センター、脳神経センター、  
呼吸器センター、腎センター、小児・周産期センター
- 病床稼働率** : 84.0%
- 紹介率** : 67.2%
- 逆紹介率** : 93.0%

（平成27年度実績）

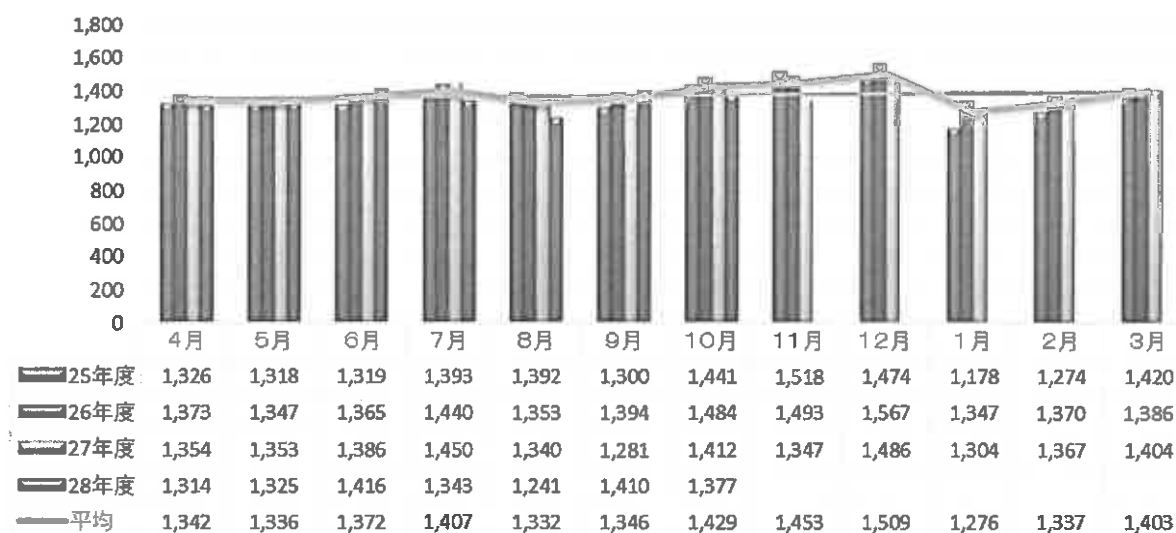
## 【入院患者数】



### ■ 合計入院患者数

平成25年度 16,404人  
 平成26年度 16,973人  
 平成27年度 16,392人  
 平成28年度 9,448人 (4~10月)

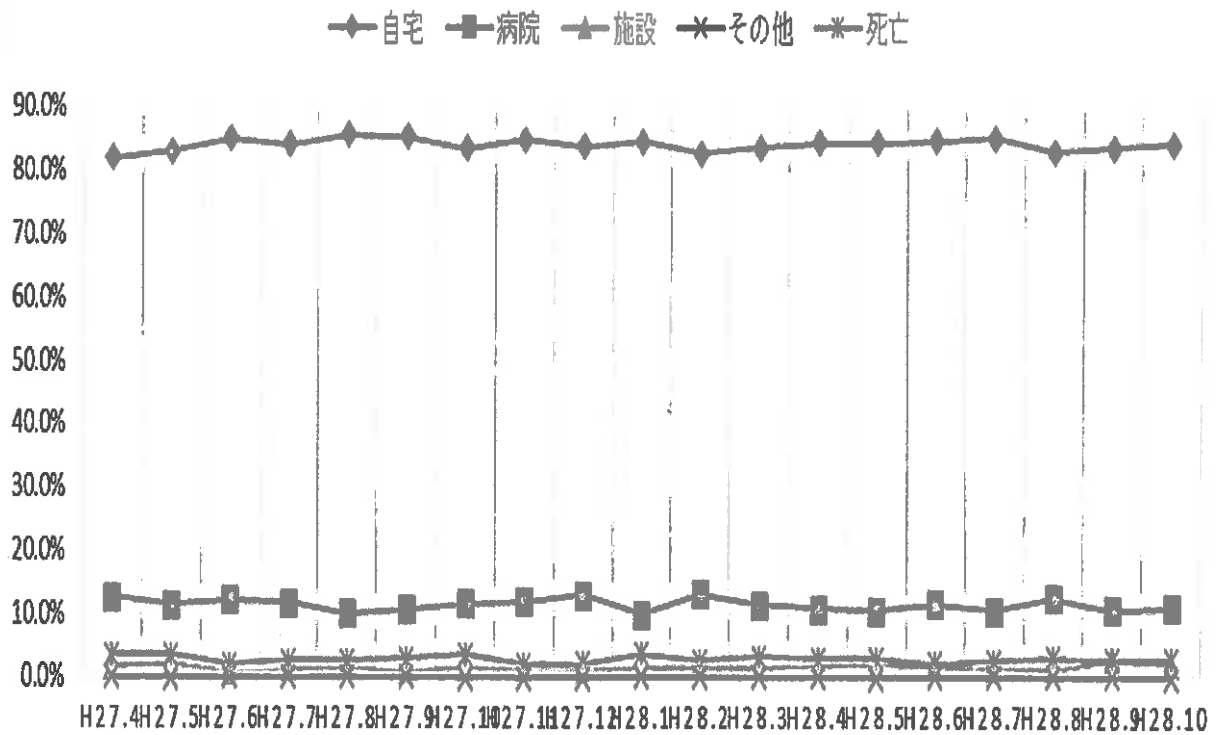
## 【退院患者数】



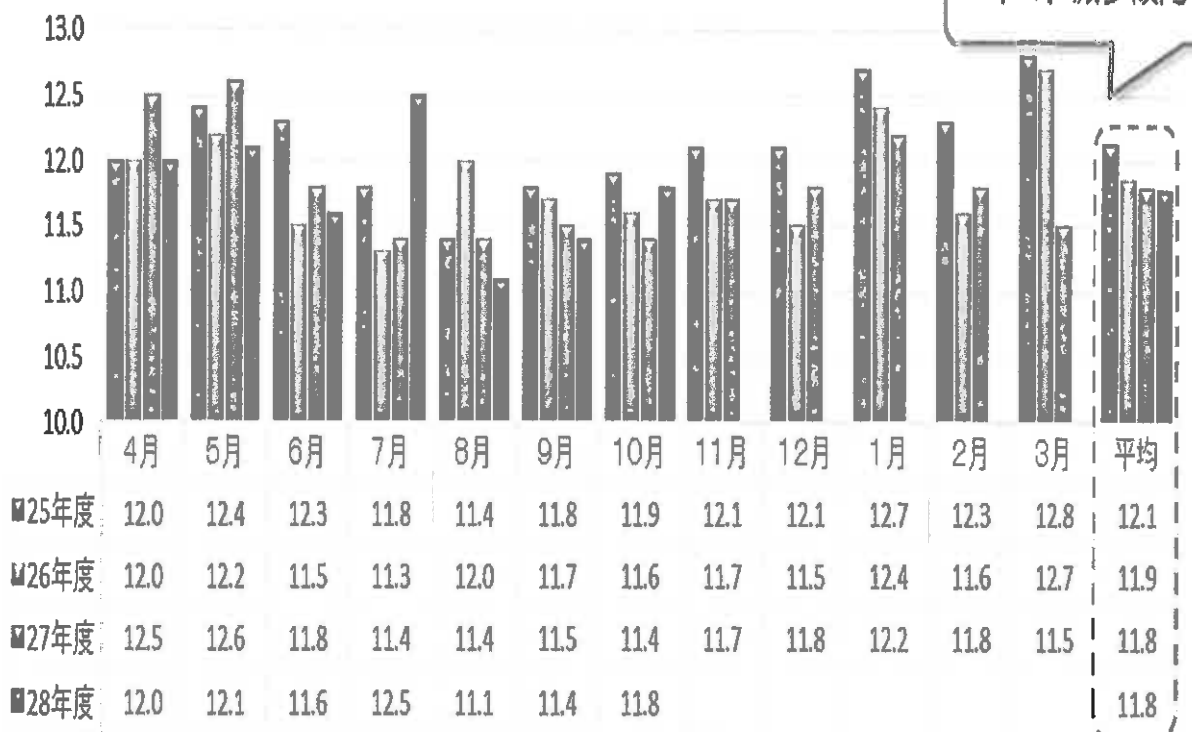
### ■ 総退院患者数

平成25年度 16,353人  
 平成26年度 16,919人  
 平成27年度 16,484人  
 平成28年度 9,426人 (4~10月)

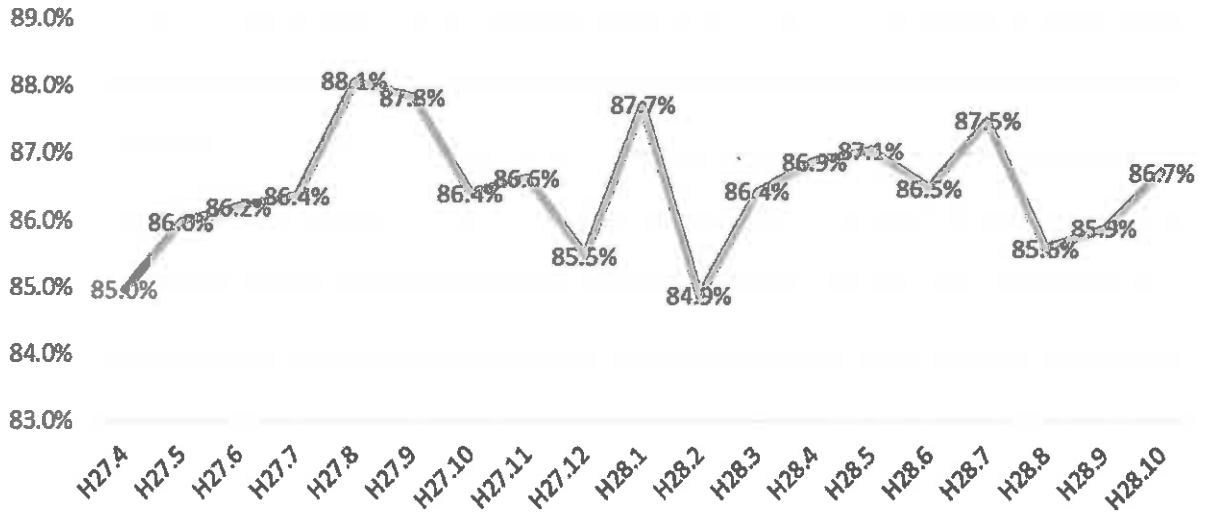
## 【退院先の推移】



## 【平均在院日数】



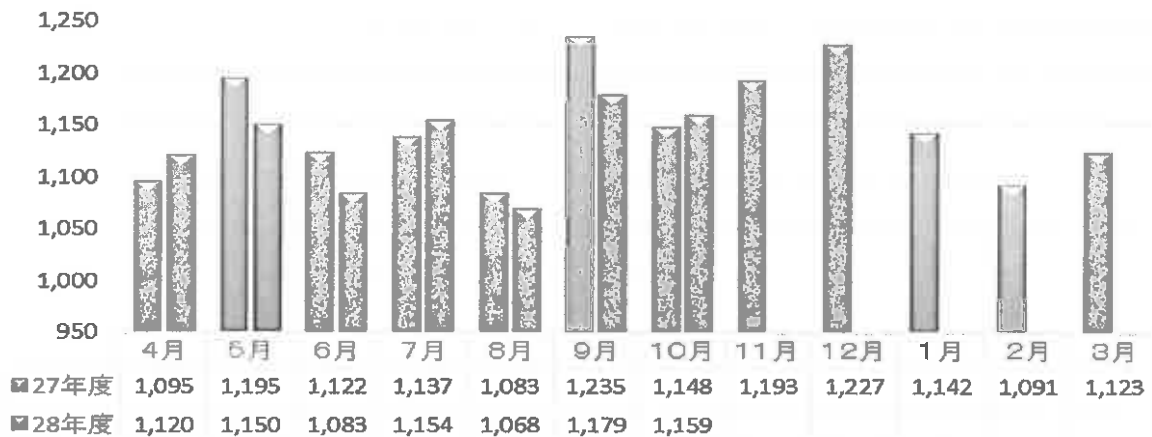
## 【在宅復帰率】



### ■在宅復帰率とは

算出方法＝自宅退院（当院の場合は老健施設は含まない）／（退院患者総数－死亡退院）  
 ※施設基準＝自宅退院＋回復期リハビリテーション病棟・地域包括ケア病棟  
 ・療養病棟・在宅強化型老健施設に退院した患者  
 7：1入院基本料要件 ⇒ 80%以上の在宅復帰率

## 【外来】 一日平均患者数



### ■新患 1日平均患者数

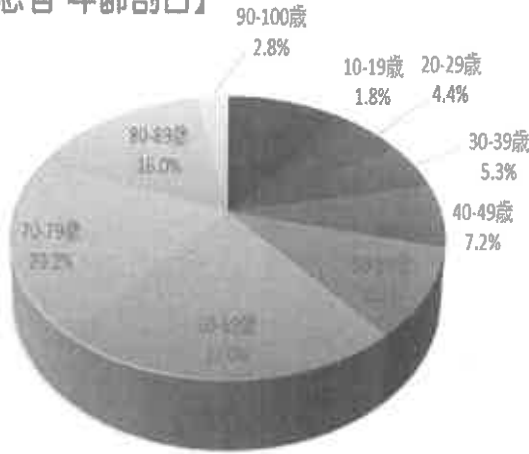
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	98	119	102	114	115	120	111	115	116	107	101	96	1,314
28年度	98	109	95	115	110	108	107						742

### ■再来 1日平均患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	997	1,076	1,020	1,023	968	1,116	1,037	1,078	1,112	1,035	990	1,027	12,479
28年度	1,023	1,041	988	1,039	958	1,071	1,052						7,172

# 入院患者（10月）における年齢割合

【入院患者 年齢割合】



■0-9歳 ■10-19歳 ■20-29歳 ■30-39歳 ■40-49歳  
 ■50-59歳 ■60-69歳 ■70-79歳 ■80-89歳 ■90-100歳

年齢区分	入院数	割合
0-9歳	144	10.2%
10-19歳	25	1.8%
20-29歳	62	4.4%
30-39歳	75	5.3%
40-49歳	101	7.2%
50-59歳	141	10.0%
60-69歳	310	22.0%
70-79歳	284	20.2%
80-89歳	225	16.0%
90-100歳	40	2.8%
合計	1,407	

# 入院患者（10月）における 要支援・介護者の割合

	入院数	割合	要支援	要介護	合計
0-9歳	144	10.2%			
10-19歳	25	1.8%			
20-29歳	62	4.4%			
30-39歳	75	5.3%			
40-49歳	101	7.2%	0	0	0
50-59歳	141	10.0%	2	1	3
60-69歳	310	22.0%	7	11	18
70-79歳	284	20.2%	9	29	38
80-89歳	225	16.0%	13	70	83
90-100歳	40	2.8%	3	24	27
合計	0		34	135	169

- 入院患者数：1,407名
- うち70歳以上：549名  
(入院患者数の25.6%)
- うち要介護等認定者：169名  
(70歳以上の  
入院患者数の30.7%)

# 地域医療福祉連携室

平成28年度目標：顔が見える、顔の向こうがみえる連携

## 【地域医療連携室】

退院支援看護師 7名

荻野 絢子  
伊藤 奈央  
伊藤 恵  
北田 幸  
見澤 ゆかり  
古舘 洋子  
釜沢 真由美

事務 8名

◆ 外来・入院患者さんの問い合わせ、相談は退院支援看護師にご連絡下さい。  
(主に後方連携担当)

◆ 紹介患者さんの診療予約受付(前方連携)、指示書類の窓口、企画調整、拠点事業は事務部門が担当します。

## 【医療相談室】

MSW(社会福祉士) 4名

渡辺 純子  
佐藤真紀子  
大倉 京子  
太田 奈月

相談員 1名(看護師)

◆ 医療費や生活費など経済的なこと

◆ 退院後の生活や在宅療養に関すること

◆ 福祉サービス(介護保険、障害者、児童福祉など)

◆ 療養中の不安や心配なことなど困ったことがありましたら気軽に相談下さい。

**がん支援相談センター** (セカンドオピニオン、治療選択)

：がん専門看護師、MSW2名

場所： 地域医療福祉連携室 ⇒ 救急外来の向かい、総合受付の裏  
医療相談室 ⇒ 1階 夜間入り口近くに男子トイレの隣

連絡先：地域医療福祉連携室 ⇒ 電話 019-653-1151  
退院支援看護師 (内線番号 2121 2386 2193)

FAX 019-654-5052

医療相談室 ⇒ 電話 019-653-1151

(内線番号 2038 2118 2119 2147)

FAX 019-622-9995

# 退院支援の流れ

## ①入院3日以内：

病棟看護師が入院時退院支援スクリーニング票を記入  
その後退院支援部門看護師が退院困難な要因を有する患者を抽出  
退院支援スクリーニング票を再評価する。

## ②入院7日以内：

病棟看護師と退院支援部門看護師・社会福祉士が  
共同カンファレンスで情報共有し、入院時から方針検討  
(退院支援計画書作成し本人・家族とも共有)

\* 介護認定を受けている患者で担当ケアマネジャーがいる場合は  
病棟看護師または各病棟担当の退院支援看護師から入院の連絡。

③ 病状の変化など退院支援が必要となった際は、  
随時カンファレンスを実施し支援

# 退院調整フロー

	●外来 <看護師> 病状・通院状況 治療方針 家族の背景・自宅の様子確認 病態予測	相談室 <MSW> <退院調整担当看護師> 医療介護の関連機関への連絡 確認	患者・家族 診察 説明を受ける	医療・介護連携機関 本人・家族のサポート 情報提供
外来 通院中				
入院 1日目 ... 3日以内	●病棟 <看護師> 入院基礎情報聞き取り 退院支援スクリーニング票チェック 各病棟の退院支援看護師が 退院困難な患者を抽出			情報提供 情報共有
入院中 ~7日以内	・チェック項目あり 看護計画・退院支援計画書作成 病態把握 退院時の生活予測 支援検討 退院調整看護師・MSWへ連絡 ケアマネへ連絡し情報提供依頼	チームカンファレンス 支援検討	在宅での様子 情報提供 退院後の生活について ない	
看護計画に 沿って支援	・チェック項目なし <医師> 治療方針決定 治療開始 病態説明 退院時の病態予測 生活予測 <薬剤師・栄養士・リハビリ> 状態把握 情報提供 支援検討	日常の場面で その都度 多職種と 情報共有	継続する治療 生活する上での注意点 サポート方法を相談	退院後のサポート体制 プラン検討 準備開始
退院前			退院前カンファレンス	
退院			退院・転院	

## 医療・介護連携

### □ 当院での取り組み

#### 地域包括支援センターへの訪問

当院における退院調整、連携に関する問題点を把握する目的

#### 【ご提言・要望内容】

- ・病院全体で介護についての知識・意識が低い
- ・主治医意見書の提出が遅い
- ・介護制度を理解してほしい
- ・上から目線で一方的な対応である
- ・どんな情報を聞きたいのか目的意識をもって連絡してほしい
- ・FAXで情報提供しても改めて来院が必要なのか

## 具体的な取り組み内容

地域で選ばれる、気軽に相談できる病院の風土づくり

### 1. 院内勉強会の実施

- ① 介護保険について
- ② 目的や必要性を意識した情報交換・共有のあり方、接遇

### 2. ケアマネジャー来訪依頼の取り決め検討

- ・退院調整看護師とのカンファレンス時に目的や必要性を検討
- ・来院フローを作成

要支援⇒入院・退院時の電話連絡し情報提供依頼

明らかに病状やADLに支障をきたすことが予測される場合は  
来訪頂き、入院早期から退院を見据えて情報交換・共有

要介護⇒入院・退院の電話連絡し情報提供依頼

日程調整頂き来院を依頼

入院早期から退院を見据えて情報交換・共有



### 3. 退院前カンファレンスの実施

自宅や施設に退院される際は、可能な限り退院時にカンファレンス実施  
患者・家族が安心して在宅に帰れるよう情報共有の場を設ける

### 4. 駐車場の無料利用

各介護事業所へ許可書配布  
第2駐車場側の病院側に3台駐車可能

### 5. その他の取り組み

#### ① 訪問看護実習

- ・在宅看護を経験することで、病院での療養とどんなところが違うかを知る。
- ・在宅における看護師の役割や関わりを知る。

\*院内発表会を開催

#### ② 退院前訪問指導・退院後訪問指導

- ・退院前後に患者宅を訪問し、在宅療養の環境を整え、継続して在宅で過ごせるよう支援する。
- ・訪問看護師やケアマネジャーと同行するとより効果的。